

主な出来事

【内政】

- 7日, 国民議会において選挙法の改正案が賛成多数で可決された。
- 16日, 財の不正取得抑制のための監査院(GREI)予審部は, カリム・ウッド元大臣の拘留期限終了に際し, 予審の終了及び2か月後に同元大臣を起訴する旨発表した。
- 25日, ウッド前大統領は政権交代後約2年ぶりにセネガルに帰国した。

【外政】

- 13日から15日にかけて, ケイタ・マリ大統領は就任後初めてセネガルを訪問した。
- 8日, ファル特別法廷検事はハブレ元チャド大統領裁判の見通しについて, 2014年は予審に当てられ, 本裁判は予審期間の延長が行われなければ2015年4月から行われる旨述べた。

【経済】

- 世銀の報告書によると, 2013年の経済成長率は政府が想定していた4%を下回る3.7%にとどまった。国家人口統計局の発表した成長率はこれをさらに下回る2.6%, バ経済・財政大臣の発表によると3.5%。
- 政府はセネガル化学産業公社(ICS), バス会社Dakar Dem Dikk, ホテルKing Fahd Palace, セネガル・エアラインズ, アフリカ石油精製公社(SAR), 鉄道部門等, 経営難に陥っている国営・準国営企業の救済計画実施を決定した。

【内政】

1 地方選挙及び地方分権改革

- 7日, 国民議会において選挙法の改正案が賛成多数(賛成 70, 反対 3, 棄権 13)で可決された(8日 Soleil)。
- 15日, 国民議会において地方自治体基本法の改正案が採択された。従来は地方議会職員, 県議会議長, 市長及び各助役にフランス語の読み書き能力が義務づけられていたところ, 今後はいずれかの言語での読み書きができれば可とされる(16日 Populaire)
- サン・ルイ市長選挙において, アリュン・バダラ・シセ元与党APRナショナル・コーディネイター及びシェーク・バンバ・ジェイ現同市長(通信・IT経済大臣)はいずれも与党BBY連合には加わらず, それぞれ独自の政党連合Ndar Rèk及びAnd ligeey sunu deukkから立候補する(28日 Soleil, 29日 Observateur)。
(当館注:ジェイ現市長はBBY連合に所属しているが, 同連合はサン・ルイ市長候補としてサル大統領夫人の兄弟であるマンスール・ファイ氏を擁立する旨明らかにしている。)
- ハリファ・サル現ダカール市長(社会党所属)は, 同市グラン・ヨフ区長選挙において与党BBY連合には加わらず, 独自の政党連合Taxawu Ndakaruから立候補する。同区の外, ダカール市内の合計7区で社会党がBBY連合には参加せず, 他党とTaxawu Ndakaru連合を結成するなどして選挙に臨むことが確定している(29日 Observateur)。

2 カリム・ウッド元大臣裁判 (往電第475号)

- 14日、財の不正取得抑制のための監査院(CREI)は、カリム・ウッド元大臣がシンガポールの銀行に開設した African Handling Service 社名義の口座に 470 億 Fcfa の預金を持っている旨明らかにした(15日 Observateur)。
- 16日、CREI 予審部は、カリム・ウッド元大臣の拘留期限終了に際し、予審の終了及び 2 か月後に CREI において同元大臣及び共犯を疑われているビボ・ブルジ氏ら数名を起訴する旨発表した(17日 Observateur)。

3 ワッド前大統領帰国 (往電第 467 号)

- 野党 PDS が 23 日と発表していたワッド前大統領のフランスからの帰国は、中継地点のモロッコの空港で専用機への同乗者がフライト許可願いと異なることを理由にセネガル政府から承認が下りなかったため、延期された(23日 Leuksenegal.net)。
- 25日午後 21 時 30 分頃、ワッド前大統領はレオポルド・セダール・サンゴール空港に到着した。同前大統領の帰国は退陣以来約 2 年ぶり(26日 APS)。
- 25日、元 PDS 党員である野党 Bokk Gis Gis のパップ・ジョップ党首、セネガル中道連盟(UCS)の同アブドゥライ・バルデ党首(ジガンショール市長)、ワッド政権下で内閣官房長官を務めた同アビブ・シィ氏(リンゲール市長)らが PDS 党本部におけるワッド前大統領の出迎えに参加した(26日 APS)。

4 独立 54 周年記念式典 (往電第 403 号)

- 3日、サル大統領は翌日の独立 54 周年記念日に際し、国民に向けたスピーチを行った(4日 APS)。
- 4日、ダカール市内オベリスク広場において軍隊・警察関係者等約 5,700 名及び市民によるパレードが行われ、サル大統領ほかポハンバ・ナミビア大統領らが出席した(4日 APS)。

5 ケドゥグ移動閣議

- 17日、ケドゥグ州ケドゥグ県ケドゥグ市で第 9 回移動閣議が行われ、サル大統領は 2014 年から 2016 年にかけて同地域の開発及び近代化のために必要とされている 1,920 億 Fcfa のうち 1,090 億 Fcfa について、農業、インフラ整備、エネルギー・鉱業、教育、保健、文化分野にそれぞれ拠出が決定されている旨明らかにした(17日 APS, 18日 Soleil)。

6 2013 年国勢調査

- 28日、2013 年国勢調査の仮結果が発表された(29・30日 Quotidien)。
 - 総人口:1,287 万 3,601 人(2002 年からの人口増加率は 2.5%)
 - 20 歳以下人口の割合:52.7%, 15 歳以下の割合:42.1%, 65 歳以上の割合:3.5%
 - 都市部における一家族の平均人数:7 人, 農村部:10 人
 - 都市部人口:45%, 農村部人口:55%

【外政】

1 サル大統領の訪独

- 1日、ベルリンを訪問中のサル大統領はバ経済・財政相、セック・エネルギー相、シイ APIX 総裁らとともに、

コーン KFW(ドイツ復興金融公庫)アフリカ部長及び 80 名の民間投資家との協議を行った。同部長は両国の間でエネルギー(特に再生可能エネルギー)分野の協力を強化することについて合意された旨明らかにした(2日 Soleil)。

2 EU・アフリカ首脳会合

- 2日から3日にかけて、サル大統領はブリュッセルで開催された第4回EU・アフリカ首脳会合に出席した(2日 APS)。

3 ケイタ・マリ大統領のセネガル訪問(往電第439号)

- 13日から15日にかけて、ケイタ・マリ大統領はコナテ連帯・人道活動・北部復興大臣、クマレ設備・運輸・国土整備大臣、ケイタ・エネルギー大臣らとともに就任後初めてセネガルを訪問した。14日、サル大統領とケイタ大統領は共同記者会見において、ダカール・バマコ鉄道をできる限り速やかに修復する意向を述べた。サル大統領によると、世銀及び中国の協力が得られるとのこと。またサル大統領は、セネガルからマリに売却されている電気料金の25%引き下げ(付加価値税18%引き下げ、関税7%引き下げ)など、エネルギー分野での協力を発表した(15日 Soleil)。
- ケイタ大統領は、2012年のクーデターで失脚して以来ダカールに滞在しているトゥーレ元マリ大統領について、「司法の問題であり、コメントは差し控える」と述べた(15日 Soleil)。
- 14日、ケイタ大統領はセネガル国民議会において演説を行い、マリ北部で活動する反政府勢力に対し対話を呼びかける一方、アザワド解放民族運動(MNLA)がロシアから武器等の支援を受けていることを非難した。また同大統領はセネガルによるマリの安定化への取り組み及びマリでのミッション中に死亡したセネガル兵への感謝を述べた(15日 Soleil)。

4 ハブレ元チャド大統領裁判

- 7日、国家メディア規制評議会(CNRA)は、ハブレ元チャド大統領の裁判を録画・放送することについて、推定無罪の原則や被告のプライバシーを侵害するものであるとの声明を発表した。8日、ンバケ・ファル特別法廷(CAE)検事はこれに関し、CAEの設立にかかる法規において尋問の録画・放送は認められていると反論した(9日 Populaire, Sud Quotidien)。
- 8日、ファル検事は同裁判の見通しについて、2014年は予審に当てられ、本裁判は予審期間の延長がなければ2015年4月から行われる旨述べた(9日 Quotidien)。

5 セネガル・ガンビア間の国境封鎖

- 19日、ガンビア当局はセネガルとの国境を一部封鎖した。理由は説明されなかったが、2013年末からガンビア川を横断するフェリーの国外ナンバー車両向け料金の導入について、ガンビア当局とセネガル側の運送業者組合が交渉を行っていたことに関連するものと思われる(22日 The Point, Quotidien)。
- 25日、大統領府・外務省及び在ガンビア・セネガル大使館付きアドバイザー大臣を務めるユッサー・ンドゥール元観光相がジャメ・ガンビア大統領と会談を行った結果、国境の封鎖は解除された(26・27日 Sud Quotidien)。

6 国際薬物取り締まりミッション「Cocair 4」

- 11 日, 2013 年 10 月から 11 月にかけて世界税関機構(WCO), インターポール, 国連薬物犯罪事務所(UNODC)及びラテンアメリカ・カリブ海・アフリカの 30 か国の協力のもとに実施された, 主に空路での違法薬物取引取り締まりのための国際ミッション「Cocair 4」の結果報告会がダカールで実施され, 大麻 1,500 キロ, コカイン 181 キロ, メタンフェタミン 40 キロの押収及び 91 人の逮捕が明らかにされた。セネガルにおいては, ダカール空港でコカイン 1 キロが押収されている。またラパック UNODC 西部・中央アフリカ地域事務所代表によると, セネガルはガーナ, ナイジェリアと並び西アフリカにおける大麻の三大生産地の一つであるとのこと(12・13 日 Populaire, Quotidien, Walfadjri)。

7 トルコ大使館建設への反対運動

- 12 日, ダカール市コルニッシュ通り沿いのトルコ大使館建設予定地において複数の市民団体が反対デモを行い, 29 名が逮捕された。逮捕者の中には市民運動「Y'en a marre」のファデル・バロ事務局長や同団体のメンバーで歌手の Fou Malade が含まれている(14 日 Observateur)。

【経済】

1 経済成長率

- 世銀が発表したアフリカ経済に関する報告書によると, 2013 年のセネガルの経済成長率は政府が想定していた 4%を下回る 3.7%にとどまった。これについてイングリッシュ世銀セネガル事務所チーフ・エコノミストは「2014 年に(政府が目標として掲げている)4.6%の成長率を達成するには, 特にビジネス環境の改善にかかる改革が予定通りに進行することが必要だ」と述べている(8 日 Populaire)。
- 国家人口統計局の発表によると, 2013 年の経済成長率は世銀の報告書で発表された 3.7%をさらに下回る 2.6%にとどまる(9 日 Quotidien)。
- 22 日, バ経済・財政相は経済社会環境評議会(CESE)において, 2013 年の経済成長率は食糧生産の向上に伴い 3.5%に達した旨述べた(22 日 APS)。

2 財政

- 公共調達局の発表によると, 2014 年の第 1 四半期における 960 億 Fcfa の公共調達のうち, 112 億 Fcfa が随意契約により実施されている(29 日 Populaire)。
- IMF が発表した 2013 年の UEMOA 加盟諸国の経済に関する報告書によると, セネガルにおける政府支出の効率性は改善しておらず, 低予算で効率よく収益を上げる投資を行う必要があるとのこと。また同報告書によると, UEMOA 圏内で公債費比率が上昇しているのはセネガル, ニジェール, ブルキナファソの 3 か国(29 日 Populaire)。

3 農業

- 政府は 2013 年の不作から予想される食糧不足に備え, 220 億 Fcfa を対策のために支出することを決定した(うち 10 億 Fcfa はドナーからの支援を募る予定)。5 月以降, 食糧及び家畜飼料が配布される(3・4 日 Observateur)。
- 10 日の閣議において, セック農業大臣より 2014 年-15 年の農繁期における種子及び肥料の価格引き下げ

が発表された(落花生承認種子 1 キロ 200Fcfa⇒150Fcfa, 肥料 1 袋 6,250Fcfa⇒6,100Fcfa)(11 日 Soleil)。

4 建築許可申請の電子化

- 31 日, トゥーレ首相は, ダカール州における TELEDAC(Télé-Demande d'Autorisation de Construire)制度の運用開始を発表した。同制度は建築許可申請の電子化により所要時間を短縮するためのもので, 今後全国的な適用が目指されている(1 日 Soleil)。

5 国営企業の経営難救済計画

- 28 日の省庁間会議において, セネガル化学産業公社(ICS), バス会社 Dakar Dem Dikk, ホテル King Fahd Palace, セネガル・エアラインズ, アフリカ石油精製公社(SAR), 鉄道部門等, 経営難に陥っている国営・準国営企業の救済計画実施が決定された(29 日 Walfadjri)。

6 経済協力

- ミレニアム開発目標の達成のためにイタリア及びイスラエルが 190 億 Fcfa を拠出する国家農業投資プログラム支援プログラム(PAPSEN)が開始された。同プログラムはティエス, ファティック, セジュ, コルダの各州を対象に 3 年にわたって実施される(9 日 Quotidien)。
- 28 日, ダカール市内のボルドー経営学校を訪問したファン中国大使は, 教育・研修は中国の対セネガル支援の重要な要素であり, 今後同分野の支援を強化する旨述べた(29 日 Soleil)。

(了)